

災害に備える！

北の国災害サポートチーム オンライン研修会

近年は北海道においても大規模な災害が発生しています。2018年9月6日に発生した胆振東部地震では、北海道内外から100を超える団体が被災地域へ赴き、支援活動を行いました。復興に向けた長期的な取り組みの中では、地域特性に応じた支援を行うため、行政・社会福祉協議会・NPO等の三者連携の構築が必要不可欠です。

北の国災害サポートチームでは、胆振東部地震での経験を踏まえ、NPOの支援内容の周知と全道域及び圏域のネットワークと支援体制の構築につなげるため、研修会を実施します。

日程

第1回 2020年10月7日（水）10:00～12:00

『被災者のための情報共有』

第2回 2020年11月12日（木）13:30～15:30

『被災者に対する心身のケア』

第3回 2020年12月16日（水）13:30～15:30

『専門（技術系）ボランティアとの連携』

参加対象

行政職員、社会福祉協議会職員、
被災者支援活動を行うNPO等のスタッフ

参加費

会員：無料 非会員：1,000円／各回

◆ きたサポ「協力会員」会員募集中！ ◆

参加方法

Zoomによるオンライン開催

定員
各回30名

お申込みはこちら



この研修会は、休眠預金制度を活用した「広域・分散型災害支援ネットワーク構築事業～広域災害に対応する全国モデルへの展開～」事業の一環として実施します。

主催 北の国災害サポートチーム
後援 北海道／社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
認定NPO法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）

プログラム

第1回

テーマ『被災者支援のための情報共有』

防災基本計画では、外部支援者との情報を共有する場を設置するなどし、被災者のニーズや支援活動の全体像を把握することが求められています。北海道胆振東部地震では、「情報共有会議」と呼ばれる、被災自治体、被災地社協、NPO等支援団体が情報を共有し合う場が発災の1週間後に設置され、本年9月で41回の開催を重ねています。災害発生時に情報を共有し合うことの必要性と、そこで生まれた施策について取り上げます。

ゲスト：認定NPO法人全国災害ボランティア支援ネットワーク千葉 泰彦 氏
安平町 副町長 田中 一省 氏

第2回

テーマ『被災者に対する心身のケア』

災害時における被災者の身体的・精神的な被害は長期にわたり発生します。北海道胆振東部地震では、避難所や仮設住宅で過ごす被災者のみならず、家屋の損傷が軽微だった住民、老若男女問わず心身への影響が長期的に発生していることがわかりました。災害時の心身のケアの必要性と、胆振東部地震での実践について取り上げます。

ゲスト：認定NPO法人レスキューストックヤード 吉林 奏 氏
むかわ町健康福祉課 今井 喜代子 氏

第3回

テーマ『専門（技術系）ボランティアとの連携』

平成29年に内閣府が策定した「地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン」では、平時から自治体以外との連携について「災害対応の主体であるボランティア」や「医療・保健・福祉分野の専門職能団体」が明記されています。北海道胆振東部地震でも活躍した建設重機や大工系の技術を持つ「技術系ボランティア」の実践と機能について取り上げます。

ゲスト：一般社団法人OPEN JAPAN 肥田 浩 氏
社会福祉法人厚真町社会福祉協議会 山野下 誠 氏

お申込み

- 北の国災害サポートチームWebサイトのエントリーフォームよりお申込みください。非会員の方は、各回開催日の5日前までに指定口座へ参加費のお振込みをお願いいたします。
- 各回開催日の3日前までに、ミーティングIDとパスワードをメールでお知らせします。
- 申込締切：各回開催日の1週間前まで

<https://kitanokunikaigi.wordpress.com>



【お問い合わせ先】 **北の国災害サポートチーム**（担当：定森）

きたサポ
北の国災害サポートチーム

〒064-0808
北海道札幌市中央区南8条西2丁目5-74
市民活動プラザ星園201号室
特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター内
TEL：011-200-0973 FAX：011-200-0974
E-mail：kitasapo.saigai@gmail.com